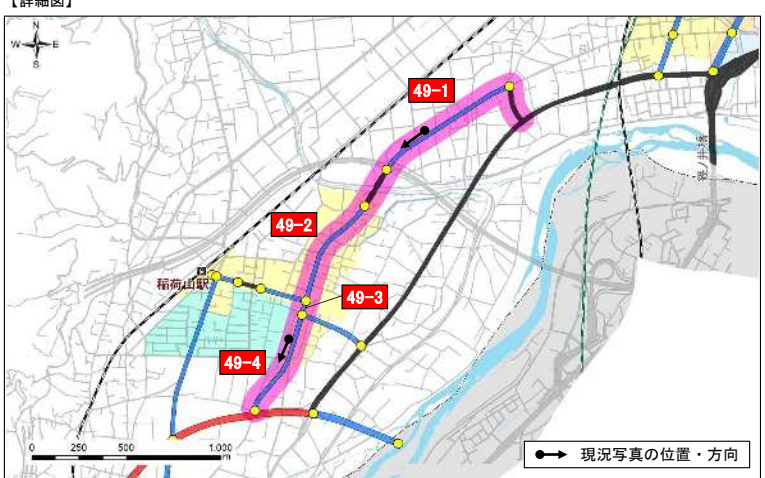
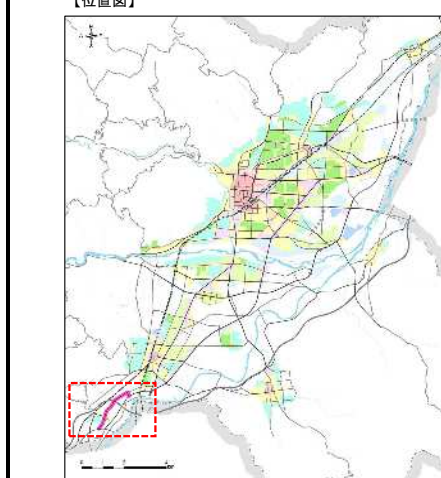


路線番号・路線名	3.5.49 塩崎中央線	計画延長	2,490m	代表幅員	12.0m	改良済延長	420m	未整備延長	2,070m	改良率	16.9%	車線数	2車線
計画決定当時の目的	本市の市街化の動向及び土地利用等を勘案し検討した結果、本案のとおり変更するものである。												
都市計画決定経緯	当初	S37.3.22	L=5,490m	W=12m									
	第1回	S42.2.16	L=5,490m	W=12m(番号変更)									
	第2回	S44.5.22	L=4,050m	W=12m(番号延長、起点、終点変更)									
	第3回	S54.9.10	L=4,050m	W=12m(番号変更)									
	第4回	S60.12.23	L=2,480m	W=12m(名称、延長、起点、終点変更)									
	第5回	S63.3.3	L=2,490m	W=12m(延長変更)									

対象路線区間割り図



整備状況：令和3年4月1日現在

現況



区間番号	区間の現況と計画					有効性検討指標										代替性検討指標		実現性検討指標				客観的指標による区間別評価結果	総合的な検証						都市計画道路見直し案(各種意見の反映後)	将来推計見直し道路網(2035年)										
	区間延長(m)	用途地域指定状況	現況幅員(m)	整備状況	53条許可件数	現況交通量(2016年)(百台/日)	計画幅員(m)	将来交通量(2035年)(百台/日)	1. 都市環境機能					2. 防災機能			3. 収容空間機能		4. 市街地形成機能		5. 交通機能		6. 代替性		7. 実現性						①	②	③	④	⑤	⑥	交通量(百台/日)			
49-1	780	白	6.0	未整備	29	30	0.43	12.0	9	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.42
49-2	630	住	6.0	未整備	22	30	0.43	12.0	9	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.42	
49-3	70	住	4.5	未整備	4	-	-	12.0	14	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	0.21	
49-4	590	住	4.5	未整備	20	-	-	12.0	1	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

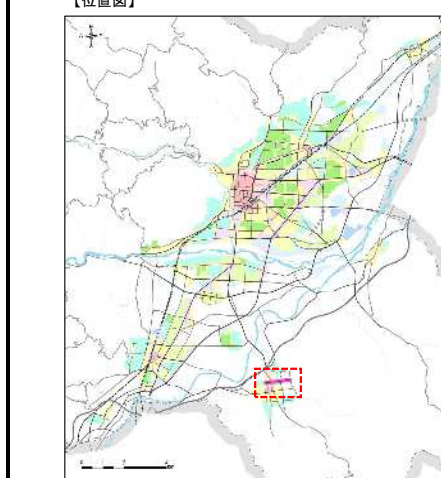
見直し案の考え方

有効性が低く、(都)塩崎東部線((主)長野上田線)が代替路となるため、廃止候補とする。
 ただし、区間49-3については、区間50-1,2,78-1と一体となり国道18号と稲荷山駅を結ぶアクセス道路となることから、継続検討候補に位置づけ、前述の区間と合わせて引き続き検討するものとする。

注1) 用途地域指定状況：住→住居系用途地域、商→商業系用途地域、工→工業系用途地域、白→白地地域
 注2) ○：有効性、代替性の評価で該当あり、△：実現性の評価で該当あり
 注3) 「課題なし」：有効性指標に該当あり、代替性・実現性指標に該当がない区間 「課題あり(有効性高い)」：代替性または実現性指標に該当あり、有効性指標への該当数が全体の平均を上回っている区間 「課題あり(有効性低い)」：代替性または実現性指標に該当あり、有効性指標への該当数が全体の平均を下回っている区間。または、有効性指標に該当がない区間
 注4) 「存続候補」：現計画のまま存続することが望ましいと考えられる区間 「変更候補」：幅員変更や部分的なルート変更を行うことが望ましいと考えられる区間 「継続検討候補」：引き続き見直し方針を検討することが望ましいと考えられる区間 「廃止候補」：現計画を廃止することがのぞましいと考えられる区間

路線番号・路線名	3.4.61 松代(停)線	計画延長	1,150m	代表幅員	16.0m	改良済延長	0m	未整備延長	1,150m	改良率	0.0%	車線数	2車線
計画決定当時の目的	本町は、近時温泉開発及び宅地造成に伴い、市街地の発展は著しく、都市内交通量も増加し、都市機能を阻害している現状にあるので、今回本案のように街路網を決定しようとするものである。												
都市計画決定経緯	当初 S41.12.27 L=1,160m W=22m 第1回 S42.2.16 L=1,160m W=22m(番号,名称変更) 第2回 S44.5.22 L=1,150m W=16m(番号,名称,幅員,延長,線形変更) 第3回 S54.9.10 L=1,150m W=16m(番号変更)												

対象路線区間割り図



整備状況：令和3年4月1日現在

現況



区間番号	区間の現況と計画										有効性検討指標										代替性検討指標		実現性検討指標					客観的指標による区間別評価結果	総合的な検証						都市計画道路見直し案(各種意見の反映後)	将来推計見直し道路網(2035年)				
	区間延長(m)	用途地域指定状況	現況幅員(m)	整備状況	53条許可件数	現況交通量(2016年)	計画幅員(m)	将来交通量(2035年)	1.都市環境機能	2.防災機能	3.収容空間機能	4.市街地形成機能	5.交通機能	6.代替性	7.実現性	①	②	③	④	⑤	⑥																			
61-1	240	商	7.0	未整備	15	1	0.00	16.0	1	0.01	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	△	-	-	-	1	課題あり(有効性高い)	-	-	-	-	-	検討	継続検討候補	1	0.01
61-2	430	住	0.0	未整備	16	-	-	16.0	1	0.01	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	△	-	-	-	1	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-
61-3	480	白	0.0	未整備	12	-	-	16.0	1	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	2	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	

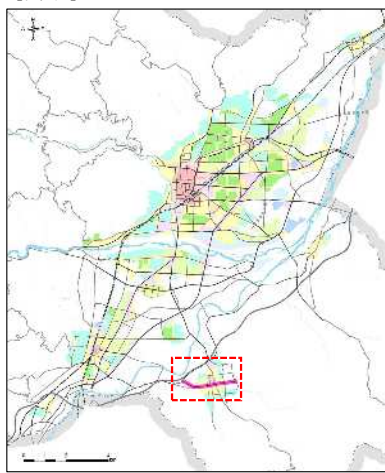
見直し案の考え方

区間61-1は、歴史環境保全に課題があるものの、有効性が高く、また旧松代駅の都市計画駅前広場へのアクセス道路となることから、継続検討候補に位置づけ、駅前広場の都市計画決定のあり方と合わせて引き続き検討するものとする。
区間61-2,3は、有効性が低く、歴史環境保全に課題があり(特に区間61-2は国登録有形文化財の「梅翁院山門」に計画線が重なっている)、加えて区間61-3は市街地拡大を招く恐れもあるため、廃止候補とする。

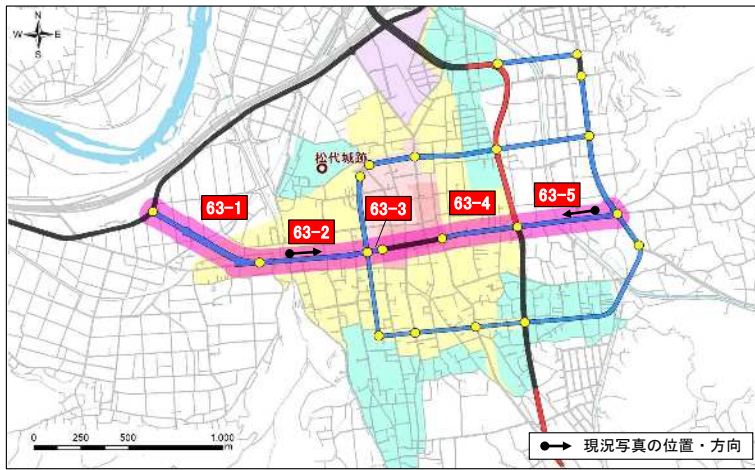
注1) 用途地域指定状況：住→住居系用途地域、商→商業系用途地域、工→工業系用途地域、白→白地地域
注2) ○：有効性、代替性の評価で該当あり、△：実現性の評価で該当あり
注3) 「課題なし」：有効性指標に該当あり、代替性・実現性指標に該当がない区間 「課題あり(有効性高い)」：代替性または実現性指標に該当があり、有効性指標への該当数が全体の平均を上回っている区間 「課題あり(有効性低い)」：代替性または実現性指標に該当があり、有効性指標への該当数が全体の平均を下回っている区間。または、有効性指標に該当がない区間
注4) 「継続候補」：現計画のまま存続することが望ましいと考えられる区間 「変更候補」：幅員変更や部分的なルート変更等を行うことが望ましいと考えられる区間 「継続検討候補」：引き続き見直し方針を検討することが望ましいと考えられる区間 「廃止候補」：現計画を廃止することがのぞましいと考えられる区間

路線番号・路線名	3.4.63 松代中央線	計画延長	2,540m	代表幅員	16.0m	改良済延長	310m	未整備延長	2,230m	改良率	12.2%	車線数	2車線
計画決定当時の目的	本町は、近時温泉開発及び宅地造成に伴い、市街地の発展は著しく、都市内交通量も増加し、都市機能を阻害している現状にあるので、今回本案のように街路網を決定しようとするものである。												
都市計画決定経緯	当初 S41.12.27 L=2,860m W=16m 第1回 S42.2.16 L=2,860m W=16m(番号変更) 第2回 S44.5.22 L=2,220m W=16m(番号、名称、幅員、延長、起点、終点、線形変更) 第3回 S54.9.10 L=2,220m W=16m(番号、名称変更) 第4回 H6.11.17 L=2,540m W=16m(名称、延長、ルート変更)												

対象路線区間割り図

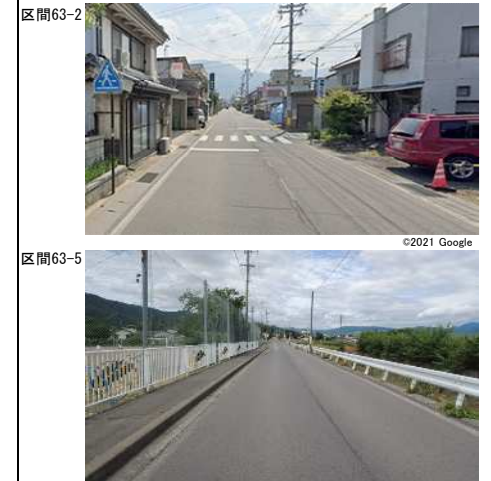


【詳細図】



整備状況：令和3年4月1日現在

現況



凡例

- ◆都市計画道路整備状況
- 整備済
- 事業中
- 概成済
- 未整備
- 構想路線

区間番号	区間の現況と計画					有効性検討指標										代替性検討指標		実現性検討指標				客観的指標による区間別評価結果	総合的な検証						都市計画道路見直し案(各種意見の反映後)	将来推計見直し道路網(2035年)											
	区間延長(m)	用途地域指定状況	現況幅員(m)	整備状況	53条許可件数	現況交通量(2016年)(台/日)	計画幅員(m)	将来交通量(2035年)(台/日)	1.都市環境機能					2.防災機能			3.収容空間機能		4.市街地形成機能		5.交通機能		6.代替性		7.実現性						①	②	③	④	⑤	⑥	見直し原案(パブリックコメントの評価)	交通量(台/日)	(混雑度)		
63-1	640	白	0.0	未整備	9	-	25.0	3	0.04	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	△	2	課題あり(有効性高い)	-	-	-	-	-	-	検討	継続検討候補	3	0.05
63-2	580	住	7.0	未整備	14	51	0.73	16.0	49	0.70	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-	1	課題あり(有効性高い)	-	-	-	-	-	-	検討	継続検討候補	45	0.64
63-3	80	商	7.5	未整備	1	51	0.73	16.0	39	0.56	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-	1	課題あり(有効性高い)	-	-	-	-	-	-	検討	継続検討候補	38	0.54
63-4	400	住	5.0	未整備	17	56	2.80	16.0	14	0.20	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	-	-	-	1	課題あり(有効性高い)	-	-	-	-	-	-	検討	継続検討候補	16	0.23	
63-5	530	白	7.0	未整備	5	58	2.90	16.0	46	0.66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	△	-	-	△	2	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	47	2.36	

見直し案の考え方

区間63-1~4は、有効性は高いものの、歴史環境保全(特に区間63-2は国登録有形文化財の「宮澤家住宅主屋」に計画線が重なっている)や市街地拡大の懸念があることから、引き続き検討する継続検討候補とする。
 区間63-5は、有効性が低く、現道活用が可能であるため廃止候補とする。

区間63-5:【廃止候補に賛成1件(1名)】
 各種意見(見直し案には賛成ですが、)現道の舗装をしっかりと直していただきたい。
 ※対象路線に関連した他の道路に関する整備の要望
 段差があり直していただきたい箇所がある。家に振動が有り心配している。また、カーブで見えづらくカーブミラーの設置を要望する。

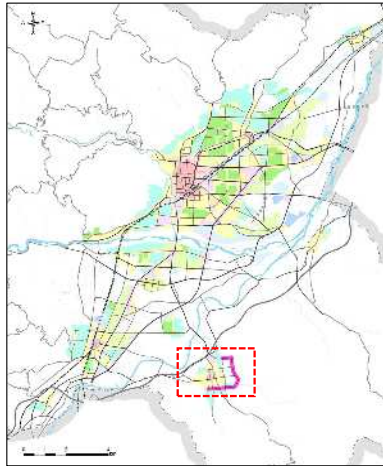
対応 いただいたご意見については関係部局と共有させていただきます。

注1)用途地域指定状況：住→住居系用途地域、商→商業系用途地域、工→工業系用途地域、白→白地地域 注2)○：有効性、代替性の評価で該当あり、△：実現性の評価で該当あり 注3)「課題なし」：有効性指標に該当あり、代替性・実現性指標に該当がない区間 「課題あり(有効性高い)」：代替性または実現性指標に該当があり、有効性指標への該当数が全体の平均を上回っている区間 「課題あり(有効性低い)」：代替性または実現性指標に該当があり、有効性指標への該当数が全体の平均を下回っている区間。または、有効性指標に該当がない区間 注4)「存続候補」：現計画のまま存続することが望ましいと考えられる区間 「変更候補」：幅員変更や部分的なルート変更等を行うことが望ましいと考えられる区間 「継続検討候補」：引き続き見直し方針を検討することが望ましいと考えられる区間 「廃止候補」：現計画を廃止することがのぞましいと考えられる区間

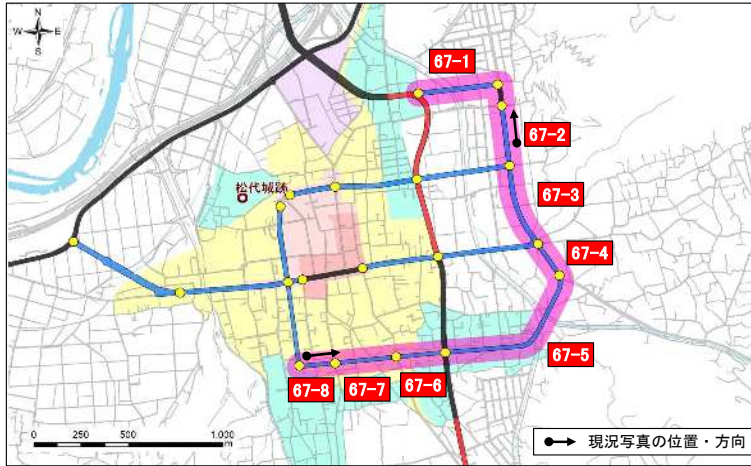
路線番号・路線名	3.5.67 西寺尾象山線	計画延長	3,180m	代表幅員	12.0m	改良済延長	120m	未整備延長	3,060m	改良率	3.8%	車線数	2車線
計画決定当時の目的	本町は、近時温泉開発及び宅地造成に伴い、市街地の発展は著しく、都市内交通量も増加し、都市機能を阻害している現状にあるので、今回本案のように街路網を決定しようとするものである。												
都市計画決定経緯	①-当初	S41.12.27	L=2,720m	W=16m									
	①-第1回	S42.2.16	L=2,720m	W=16m	(番号変更)								
	②-当初	S41.12.27	L=1,640m	W=12m									
	②-第1回	S42.2.16	L=1,640m	W=12m	(番号変更)								
	第1回	S44.5.22	L=3,490m	W=12m	(番号、名称、幅員、延長、起点、終点、区域変更)								
第2回	S54.9.10	L=3,490m	W=12m	(番号、名称、起点、区域変更)									

対象路線区間割り図

【位置図】



【詳細図】



整備状況：令和3年4月1日現在

現況

区間67-2



区間67-8



凡例

●	都市計画道路整備状況
■	整備済
■	平素中
■	概成済
■	未整備
■	構想路線

区間番号	区間の現況と計画										有効性検討指標										代替性検討指標		実現性検討指標					客観的指標による区間別評価結果	総合的な検証						都市計画道路見直し案(各種意見の反映後)	将来推計見直し道路網(2035年)																			
	区間延長(m)	用途地域指定状況	現況幅員(m)	整備状況	53条許可件数	現況交通量(2016年)		計画幅員(m)		将来交通量(2035年)		1. 都市環境機能					2. 防災機能					3. 収容空間機能					4. 市街地形成機能					5. 交通機能					6. 代替性		7. 実現性					①	②	③	④	⑤	⑥	見直し原案(パブコメ時の評価)	交通量(百台/日)	(混雑度)			
						現況交通量	(混雑度)	計画交通量	(混雑度)	将来交通量	(混雑度)	土地利用緩衝機能	歩行者の安全性確保機能	自転車の安全性確保機能	消防活動困難区域の解消	緊急輸送機能	避難支援機能	延焼遮断機能	電線共同溝の収容機能	公共交通運行支援機能	土地利用誘導機能	公共空間誘導機能	土地利用誘導機能	沿道土地利用誘導	開発計画支援機能	幹線道路機能	将来交通需要(トラフィック機能)		連続性確保機能	代替の有無	現道活用	自然環境保全	歴史環境保全	既定計画幅員		道路構造令適合性	市街地の拡大	①	②	③	④	⑤	⑥												
67-1	420	白	0.0	未整備	0	16	0.23	16.0	12	0.17	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	3	○	-	1	-	△	-	-	△	2	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	12	0.18
67-2	330	白	8.0	未整備	9	-	-	16.0	1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	1	○	○	2	-	△	-	-	△	2	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	
67-3	460	白	8.0	未整備	9	-	-	16.0	1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	3	-	○	1	-	△	-	-	△	2	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	
67-4	210	白	10.0	未整備	1	-	-	12.0	1	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	3	-	○	1	-	△	-	-	△	2	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	
67-5	860	住	0.0	未整備	22	-	-	12.0	1	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	4	-	○	0	-	△	-	-	-	1	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	
67-6	260	住	0.0	未整備	8	-	-	12.0	10	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	3	-	○	0	-	△	-	-	-	1	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	
67-7	330	住	0.0	未整備	5	-	-	12.0	18	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	4	-	○	0	-	△	-	-	-	1	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	
67-8	190	住	0.0	未整備	7	-	-	12.0	12	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	2	-	○	0	-	△	-	-	-	1	課題あり(有効性低い)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止	廃止候補	-	-	

見直し案の考え方

区間67-1~4は、有効性が低く、現道活用が可能または代替路((市)松代東124号線、(市)松代東129号線)が存在するため、廃止候補とする。
 区間67-5~8は、有効性が低く、歴史環境保全に課題があるため、廃止候補とする。

注1) 用途地域指定状況：住→一住居系用途地域、商→商業系用途地域、工→工業系用途地域、白→白地地域
 注2) ○：有効性、代替性の評価で該当あり、△：実現性の評価で該当あり
 注3) 「課題なし」：有効性指標に該当あり、代替性・実現性指標に該当がない区間 「課題あり(有効性高い)」：代替性または実現性指標に該当があり、有効性指標への該当数が全体の平均を上回っている区間 「課題あり(有効性低い)」：代替性または実現性指標に該当があり、有効性指標への該当数が全体の平均を下回っている区間。または、有効性指標に該当がない区間
 注4) 「存続候補」：現計画のまま存続することが望ましいと考えられる区間 「変更候補」：幅員変更や部分的なルート変更を行うことが望ましいと考えられる区間 「継続検討候補」：引き続き見直し方針を検討することが望ましいと考えられる区間 「廃止候補」：現計画を廃止することがのぞましいと考えられる区間